

## 中央・新旭川まちづくり推進協議会 会議録 令和4年度第3回

会議概要	
日時	令和5年3月15日(水曜日) 午後6時30分から午後7時50分まで
場所	新旭川公民館 2階 講堂
出席者	委員 (13名, 正副会長以外は50音順) 山田会長, 伊藤委員, 上野委員, 蔭山委員, 川瀬委員, 久保委員, 桜木委員, 三本松委員, 鈴木委員, 素野委員, 高橋委員, 十川委員, 山岡委員 (欠席者 中村副会長, 石橋委員, 今井委員, 大久保委員, 佐藤委員, 蔦原委員, 本多委員) オブザーバー 旭川大学経済学部 黒川ゼミ 曾根氏, 林氏 旭川市地域まると支援員 菊地支援員, 成田支援員 事務局等 地域まちづくり課 成田課長, 谷口補佐, 浅沼 中央公民館 伊藤館長
会議の公開 ・非公開	公開
傍聴者の数	0名
会議資料	次第
	資料1 中央・新旭川まちづくり推進プログラム(改訂案)
	資料2 中央・新旭川地域の補助事業の進捗状況について
	資料3 地域における課題と取組の検討について

(補足)「中央・新旭川まちづくり推進協議会」を以下「協議会」という。

### 議事の内容

#### 1 開会

開会し, 出席委員の確認, オブザーバー出席者の紹介を行った。

## 2 中央・新旭川地域のまちづくりの検討と推進について

### (1) 中央・新旭川まちづくり推進プログラムの改訂について

事務局から、資料1について説明を受け、資料のとおり改訂することを確認した。

### (2) 中央・新旭川地域の補助事業の進捗状況について

資料2のとおり「地域居場所づくり推進事業」「知新っ子見守り事業」「新旭川地区子ども見守り活動」の3事業について、実行組織に関わる各委員から進捗状況の報告があった。

主な意見は、次のとおり。

- ・知新っ子を見守る会の冬を楽しむ会は、もともとは子ども、父母、地域住民が参加する事業だったが、新型コロナで交流ができなくなった。今後、コロナが落ち着いたら、子どもを中心に交流する事業を検討してはどうか。
- ・地域でのお祭りなどを実施すると、参加者皆で楽しく過ごす、普段の地域住民同士の交流がなかなかできず、この悩みを解決したい。
- ・事業を行う際は、仕事をしている人でも参加できる日時となるよう工夫してほしい。
- ・ボランティアのお助け隊の取組について、今後、活動範囲を広げられないか。
- ・ごみ出しのボランティアに関し、家からごみステーションまで運搬なので、近所の小中学生が協力してくれる仕組みができないか。

### (3) 地域における課題と取組の検討について

資料3について、事前に提出された意見を掲載しており、その内容について各委員から説明があった。

説明の後、意見交換を行い主な意見は、次のとおり。

- ・町内会加入率の低下に関し、昔は葬儀など冠婚葬祭に町内会が関わっていたが、今は防犯灯とごみステーションの管理、それとちょっとした行事しかなく、加入するメリットを見いだせないのではないか。他人を思いやることができる社会になればいいと思う。
- ・地域の人が、町内会とつながるには誰に聞けば良いか、わからない人も多いと思う。町内会に入っていない人に情報が届いていないのではないか。
- ・知新小では、春に子どもたちと地域の人による清掃活動を実施している。学校からも地域に声をかけてくれればよいと思う。
- ・新旭川地区では、秋に明星中と地域住民による清掃活動を行っている。地区内のほかの学校でも実施時期がわかれば、地域も一緒に活動できるよう検討したい。
- ・地域の魅力発見という点で、地域のぶらり散歩は良い取組だと思う。自分の住んでいる地域

に何があるのか、意外とわかっていない。

- ・高齢者のサロンへの参加に関して、冬期間は特に足元が悪いので、歩くのは大変。送迎があると助かると思うが、実際に送迎するとなると、課題もある。
- ・サロンへの送迎については、過去に実施していたことがあるが、送迎中の事故が懸念され、とりやめた経緯がある。
- ・電子回覧板について、情報が頻繁に更新されないと、見てもらえなくなる可能性があるので、運用が重要である。

## 3 その他

### (1) 次回の協議会について

次回の協議会は、あらためて日程を案内することとなった。

## 4 閉会